

<ICT活用チーム>

【児童生徒の実態】

キーボードを使用して文字入力をする児童生徒が多く見られる。一方で、自分の考えを入力する(思考入力)経験が浅く、課題がある。

【部会のねらい】

学校教育全体でタイピング力の育成を図ることで、子どもたちの学びの広がりや深まりにつなげることができる。

視点	<A> 教育課程の 工夫改善	 教育活動の 連続性の確保	<C> 教職員間の 連続・協働	<D> 家庭・地域との 連携・協力
----	----------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------

取組	<ul style="list-style-type: none"> ・タイピング練習用のアプリを活用して、各学校において一人一人のタイピング力の育成を図る。 ・「小中一貫教育における市内共通の取組『タイピング力』育成に向けた指導計画」をもとに、タイピング力の達成度を、振り返る。 ・他校の児童生徒のタイピング能力の情報を共有する。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校においてタイピング力を向上させる時間を計画的に設定することで、一人一人のタイピング力が向上した。 ・授業中では、教師が指示しなくても、児童生徒が自らキーボードを取り出して文字入力をするなど、タイピングの必要性を感じている場面が見られた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ学年でも、児童によってタイピング力に大きな差が生まれている場合がある。ブラインドタッチの向上を図る必要がある。 ・速さを意識しているあまり、ミスタイプが増えている。